

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、 支払明細発行のお問合わせ先・郵便物送付先 ^{※1} ^{※2}	(お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料) (郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きのお問合わせ先・郵便物送付先 ^{※3}	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6724/6724.html

- ※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。
- ※2 株主名簿管理人の事務拠点の移転に伴い、2017年8月14日付で上記のとおり変更しています。
- ※3 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号
TEL: 0266-52-3131 (代表)

<https://www.epson.jp>



この冊子は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

セイコーエプソン株式会社

2019年3月期 中間株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日

CONTENTS

特集:
新製品の
ご紹介

エコタンク搭載で、
驚きの低印刷コストと
インク交換の手間軽減を実現

P. 5



特集:
広丘新工場
竣工

インクジェット
プリントヘッドの
新工場が竣工

P. 7



CSR
トピックス

乾式オフィス製紙機PaperLabが
「第1回エコプロアワード経済産業大臣賞」を受賞

P. 8

経営理念・連結財務ハイライト	P. 1
株主の皆さまへ	P. 2
当中間期の連結業績について	P. 3

連結決算の概要	P. 9
会社情報／株式情報	P. 10
株主メモ	裏表紙

経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた、なくてはならない会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

EXCEED YOUR VISION

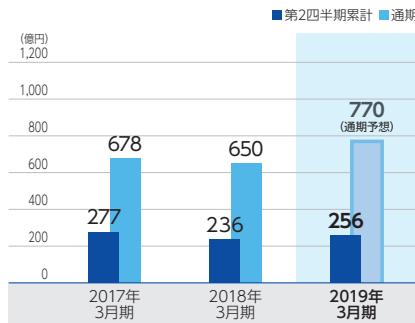
私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。



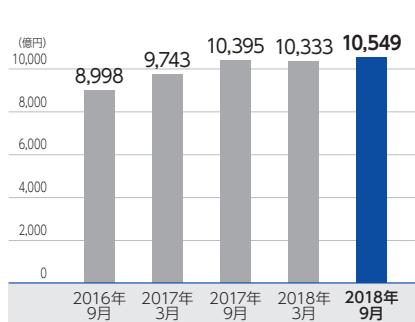
売上収益



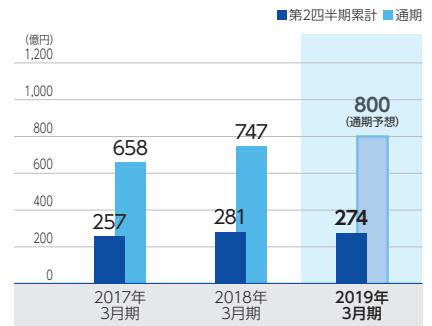
営業利益



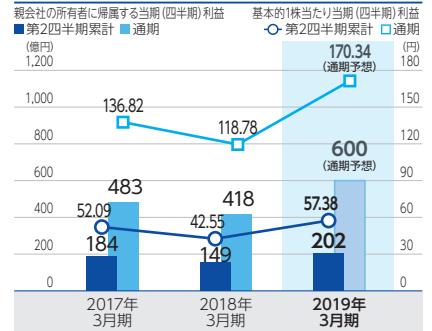
資産合計



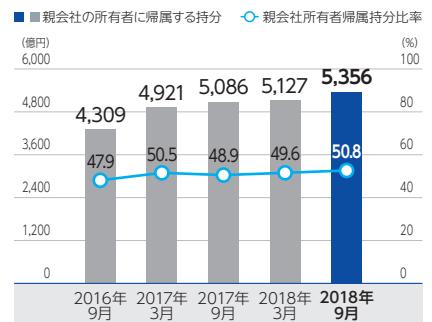
事業利益



親会社の所有者に帰属する当期 (四半期) 利益 基本的1株当たり当期 (四半期) 利益



親会社の所有者に帰属する持分 親会社所有者帰属持分比率



(注) 1. 2013年度から、国際会計基準 (IFRS) に基づいて連結財務諸表を作成しています。
2. 2019年3月期通期の売上収益および各利益は、2018年10月30日公表の予想金額です。
3. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出してあり、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念です。

本文中、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」、エプソングループ(当社および当社の関係会社)については「エプソン」と記載しています。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2019年3月期中間株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げるとともに、

西日本を中心とする豪雨、北海道胆振地方地震により被災された方々には、謹んでお見舞い申し上げます。



当中間期(2018年4月～9月)の戦略進捗および業績の概況

当中間期におきましては、長期ビジョン「Epson 25」で掲げたイノベーションの実現に向けた取り組みを着実に前進させることができました。

プリンティング領域では、大容量インクタンクシステム搭載インクジェットプリンター(国内ではエコタンク搭載モデル)は新興国に加え先進国においても販売拡大が継続しました。また、最新のプリントヘッドであるPrecisionCoreラインヘッドを搭載し、1分間で100枚のプリント(A4横片面)を実現した高速ラインインクジェット複合機は、昨年6月の発売以来、販売体制の強化や製品訴求を進めた結果、印刷性能に加え、環境性能やメンテナンス性の高さなどもご評価いただき、販売を伸ばしています。さらに、商業・産業分野での重点分野である、サインージ・テキスタイル・ラベル分野向けのプリンターもデジタル印刷の進展とともに売上が順調に増加しました。

ビジュアルコミュニケーション領域では、レーザー光源搭載の高光束プロジェクターをはじめとした高付加価値モデルを中心に販売が伸長しています。

ロボティクス領域では、米中貿易摩擦による投資減退などの影響があるものの、欧米向けロボットの受注獲得により売上は堅調に推移しました。

これらにより、売上収益は5,323億円(前年同期比50億円増)、事業利益は増収効果があったものの、将来成長に向けた戦略的な費用投下や為替のマイナス影響などにより274億円(同7億円減)となりました。四半期利益はその他の営業費用の減少や金融収益の改善などの影響により202億円(前年同期比52億円増)となりました。

株主の皆さまへの利益還元

当期の中間配当につきましては、業績が期初の予想に沿って進捗していることなどを踏まえ、従来予想どおり1株当たり31円とさせていただきます。今後、米中貿易摩擦の影響や一部新興国における通貨下落や経済活動の停滞などを背景として、予断を許さない事業環境が続く見込みですが、今期業績予想の達成と同時に、引き続き長期的な成長に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年11月

代表取締役社長

碓井 稔

売上収益：5,323 億円（前年同期比 1.0%増）

事業利益：274 億円（前年同期比 2.6%減）

事業セグメント別の概況および業績の主な変動要因

(注) セグメント利益(事業利益)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

プリンティングソリューションズ事業セグメント

売上収益 3,447 億円（前年同期比 0.8% 増）

セグメント利益 362 億円（前年同期比 1.0% 増）



売上収益



セグメント利益



■ プリンター事業

インクジェットプリンター、シリアルインパクトドットマトリクスプリンター(SIDM)、ページプリンター、カラーイメージスキャナーおよびこれらの消耗品、乾式オフィス製紙機など

■ プロフェッショナルプリンティング事業

大判インクジェットプリンター、産業用インクジェット印刷機、POSシステム関連製品、ラベルプリンターおよびこれらの消耗品など

■ その他

PC など

プリンター事業

- インクジェットプリンター本体は、インクカートリッジモデルが競合他社によるプロモーションが激しくなる中でも、必要以上のプロモーションを抑制して価格維持を図ったことなどから減収。
一方、大容量インクタンクモデルは、新興国・先進国ともに好調な販売が継続し、大幅な増加となったことから、全体では増収。
- 消耗品は、大容量インクタンクモデル用ボトルは増加したものの、コンシューマー向けインクカートリッジモデル本体稼働台数の減少影響によるインクカートリッジ

減少により減収。

プロフェッショナルプリンティング事業

- 大判インクジェットプリンターは、成長市場であるサイネージ、テキスタイルおよびラベル分野は堅調に推移。
一方、フォト・グラフィックス分野が競合他社のプロモーション影響を受けて減少となったことなどから、全体では売上前期並み。
- POSシステム関連製品は、中国等での販売好調により増収。

以上の結果、プリンティングソリューションズ事業セグメントのセグメント利益は、プリンター事業の大容量インクタンクモデル等の増収による増加があったものの、将来成長に向けた戦略的な費用投下や為替のマイナス影響等により前期並み。

主な製品



ビジュアルコミュニケーション事業セグメント

売上収益 **1,053** 億円 (前年同期比6.3%増)

セグメント利益 **134** 億円 (前年同期比5.6%増)

売上収益
構成比
19.7%

■ ビジュアルコミュニケーション事業

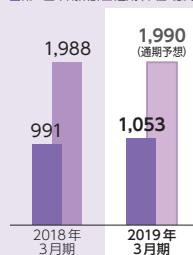
液晶プロジェクター、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネル、スマートグラスなど

- 液晶プロジェクターが、サッカーワールドカップ開催にともなう需要増により増加したことに加え、高光束分野におけるレーザー光源搭載モデル等の高付加価値製品の販売数量増加によるモデルミックス改善により増収。

以上の結果、ビジュアルコミュニケーション事業セグメントのセグメント利益は、増収影響により増益。

売上収益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



セグメント利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



主な製品



レーザー光源搭載
高光束プロジェクター [EB-L25000U]



レーザー光源搭載
ホームプロジェクター [EH-LS10500]



MOVERIO [BT-300]

ウェアラブル・産業プロダクツ事業セグメント

売上収益 **840** 億円 (前年同期比2.6%減)

セグメント利益 **34** 億円 (前年同期比28.3%減)

売上収益
構成比
15.7%

■ ウェアラブル機器事業

● ウォッチ、ウォッチムーブメント ● センシング機器など

■ ロボティクスソリューションズ事業

● 産業用ロボット、ICハンドラーなど

■ マイクロデバイス事業他

● 水晶デバイス (水晶振動子、水晶発振器、水晶センサーなど)
● 半導体 (CMOS LSI など) ● 微細合金粉末 ● 表面処理加工など

ウェアラブル機器事業

- ウォッチ市場が低調に推移したことにより減収。

ロボティクスソリューションズ事業

- モバイル市場の成長鈍化および米中貿易摩擦の影響により、中国および台湾において設備投資需要が減退したことなどから減収。

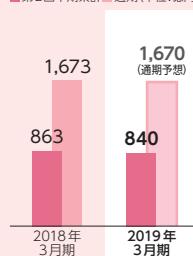
マイクロデバイス事業他

- 半導体が市場の需要増による販売数量の増加により増収となった一方で、水晶デバイスで民生機器向けを中心とした需要減により減収となったことから前期並み。

以上の結果、ウェアラブル・産業プロダクツ事業セグメントのセグメント利益は、水晶デバイスの減収影響および為替のマイナス影響により減益。

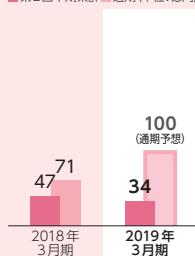
売上収益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



セグメント利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



主な製品



グランドセイコー [SBGC223]
販売: セイコーウォッチ (株)



ライトチャージGPS衛星電波時計
TRUEME [TR-MB7007]



メカニカルウォッチ
ORIENT STAR [RK-AM0001S]



GPSランニングギア
WristableGPS [U-350BS]



力覚センサーシステム
[S250シリーズ]
半導体 16ビット マイクロ
コントローラ [S1C17M20]



スカラ (水平多関節型)
ロボット [T6]



6軸 (垂直多関節型)
ロボット [N6]

その他

売上収益 **4** 億円 (前年同期比4.2%減)

セグメント利益 **△2** 億円 (前年同期は2億円のセグメント損失)

売上収益
構成比
0.1%

- グループ向けサービス業など



ご家庭でも



ビジネスでも

エコタンク搭載で、驚きの低印刷コストと インク交換の手間軽減を実現

2018年秋、ご家庭やホームビジネス向けに大容量インクタンク(エコタンク搭載)プリンターの新製品が追加されました。前面給紙のコンパクトモデル、ホワイトモデル、モノクロプリンターなど、お客様の用途に応じて選択頂けるようにラインアップを拡大しました。



EW-M630TB/TW **NEW**

ご家庭でも、ビジネスでも活躍する前面給紙のコンパクトなエコタンク搭載モデルです。

低印刷コスト

A4カラー文書の印刷コストは1枚0.9円^{※1}。低印刷コストで、コストを気にすることなく印刷ができます。

※1 EW-M630TB/TWの場合。印刷コスト算出方法は、JEITA(社団法人電子情報技術産業協会)作成発行の「家庭用IJプリンタの印刷コスト表示に関するガイドライン」に準拠。

※2 EW-M630TB/TWのA4カラー文書のコストを、PX-M650Fと比較した場合。

印刷コスト 90% ^{※2} カット	エコタンク搭載モデル (EW-M630TB/TW)	
	A4モノクロ文書 約 0.4 円(税別)	A4カラー文書 約 0.9 円(税別)
1袋あたりの 印刷コスト ^{※1}	当社カートリッジプリンター (PX-M650F)	
	A4モノクロ文書 約 4.1 円(税別)	A4カラー文書 約 13.5 円(税別)

インク交換の手間軽減

初回同梱インクで3,600ページ以上の大量プリントが可能です。さらに追加ボトルをご購入頂き、補充することにより6,000ページのプリントが可能になります。

インクの補充は、ボトルのスクリュー式のキャップを開けて挿すだけで、インク補充が開始。満タンになると自動的に補充が完了するので、手も汚れにくく、手間もかかりません。



低消費電力

大容量ボトルからのインク補充により、資源の消費量も低減。

さらにインクジェットプリンターは低消費電力。稼働時だけでなく待機時も含めたトータルの消費電力量を示すTEC値^{※3}も高水準。高い環境性能を提供します。

環境性を期待されるビジネスシーンにも最適です。



TEC値 **0.2** kWh^{※4}

※3 オフィスでの使用を想定した1週間の平均消費電力量。国際エネルギースタープログラム Ver.2.0で定められた測定法による数値。

※4 国際エネルギースタープログラム測定方法のTEC基準に基づき、エプソン独自で算出。1日あたりの印刷枚数は、105枚の条件により測定。消費電力量はお客様のプリンター使用状況により異なります。

1回の
インク交換で
印刷できる枚数^{※1}

A4カラー文書

カラーインク	ブラックインク
約 6,000 ページ	約 7,500 ページ

ホワイトモデル

設置環境に応じてさらに選択肢を広げるホワイトモデルを各機種に追加しました。



モノクロモデル

個人経営やSOHOでのモノクロ印刷需要に応えるモデルを追加しました。



インクジェットプリントヘッドの新工場が竣工

2016年秋より建設を進めていた長野県広丘事業所内の新工場が2018年6月に竣工しました。

新工場は、インクジェットプリントヘッド「PrecisionCoreプリントヘッド」のコアとなる構成部品「PrecisionCoreプリントチップ」の生産を行います。

今後稼働準備を進め、将来的には「PrecisionCoreプリントチップ」の生産能力を3倍に拡大させる計画です。

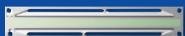


中長期的に増加するプリントヘッドの需要を支える

エプソンは長期ビジョン「Epson 25」において、オフィスおよび商業・産業印刷を注力する事業領域と位置付けています。拡大する事業領域にともなって、中長期的に増加するプリントヘッドの需要を支える生産体制を確立します。

PrecisionCore プリントチップ

「PrecisionCoreプリントヘッド」は、エプソン独自の技術によって、高速・高画質な印刷を可能にしたピエゾ方式のプリントヘッドです。そのコアとなる構成部品「PrecisionCoreプリントチップ」は、高い拡張性を持ち、用途に応じて構成することにより、さまざまな分野のプリンターに対応が可能です。

PrecisionCore プリントチップ  	オフィス 家庭  	高速ライン インクジェット 複合機  	高速 ラベルプリンター  	大判プリンター  	大型高速 ラベルプリンター  	インクジェット デジタル捺染機  
--	--	--	--	--	--	--

乾式オフィス製紙機 PaperLab が 「第1回エコプロアワード 経済産業大臣賞」を受賞



エプソンの乾式オフィス製紙機『PaperLab (ペーパーラボ) A-8000』が、このほど一般社団法人産業環境管理協会主催の「第1回エコプロアワード」(旧エコプロダクツ大賞)において、経済産業大臣賞を受賞しました。エプソンは、印刷コストや消費電力に優れた高画質・高速のビジネスインクジェットプリンターをご提供し、プリントによる価値で、お客様の業務効率向上を支援しています。さらに、お客様が使い終わった紙を「PaperLab」で新たな紙につくり変えて使う循環型オフィスを実現していくことで、紙の未来を変えるスマートサイクル事業の取り組みを進めてまいります。

なお、2018年12月6日(木)～8日(土)に東京ビッグサイト(東京・有明)で開催される「エコプロ2018-SDGs時代の環境と社会、そして未来へ-」(主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社)において、エプソンブース内に『PaperLab A-8000』を展示、随時デモンストレーションを行う予定です。

【受賞理由】

- 使用済みの一般的なオフィス用紙を用いて、その場で新たなオフィス用紙として生産できる世界初[※]の乾式オフィス製紙機で、100%再生紙(R100紙)をその場で生産できる。日常業務で大量に消費するオフィス用紙をその場で再生できる技術はこれまでになく、優れて革新的である。
- 紙を再生するという目的だけでなく、自治体では市民への目に見える環境教育教材、そして市の環境政策のシンボルとしても活用され、企業では環境推進を中心とするCSR、CSV、SDGsへの取り組みのシンボルとして企業ブランド価値の向上の一助にもなっている。使用ユーザーに対して、抜本的な紙使用の減量、廃棄紙の発生抑制が分かりやすく、資源循環の意識向上にも繋がっていることを評価した。
- また、紙を使用する現場での機密情報を完全に抹消した上で紙を再生できるため、用紙のリサイクルという環境面だけでなく、機密保持の観点も同時にクリアしていることも高く評価できる。

※ 2016年11月時点、乾式のオフィス製紙機において世界初(エプソン調べ)

連結決算の概要

四半期連結財政状態計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2018年3月期 連結会計年度末 (2018年3月31日現在)	2019年3月期 第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日現在)
資産		
流動資産	6,391	6,386
非流動資産	3,941	4,163
資産合計	10,333	10,549
負債		
流動負債	3,223	3,327
非流動負債	1,958	1,841
負債合計	5,182	5,169
資本		
資本金	532	532
資本剰余金	843	843
自己株式	△308	△308
その他の資本の構成要素	479	584
利益剰余金	3,580	3,704
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,127	5,356
非支配持分	23	24
資本合計	5,151	5,380
負債及び資本合計	10,333	10,549

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結包括利益計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2018年3月期 第2四半期連結累計期間 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	2019年3月期 第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上収益	5,273	5,323
売上原価	△3,435	△3,408
売上総利益	1,838	1,915
販売費及び一般管理費	△1,556	△1,641
その他の営業収益	12	11
その他の営業費用	△57	△29
営業利益	236	256
金融収益	6	22
金融費用	△13	△9
持分法による投資利益	0	0
税引前四半期利益	230	269
法人所得税費用	△78	△65
四半期利益	151	203
親会社の所有者に帰属する四半期利益	149	202
非支配持分に帰属する四半期利益	1	1
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目	72	32
純損益に振り替えられる可能性のある項目	48	104
税引後その他の包括利益合計	121	136
四半期包括利益合計	272	339
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	270	338
非支配持分に帰属する四半期包括利益	2	1

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2018年3月期 第2四半期連結累計期間 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	2019年3月期 第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	266	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417	△454
財務活動によるキャッシュ・フロー	228	△283
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	18	26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	96	△504
現金及び現金同等物の期首残高	2,217	2,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,314	1,792

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

会社概要

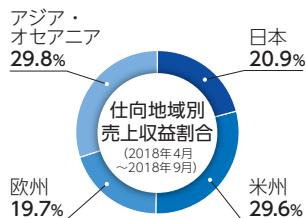
商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
創立	1942年5月18日
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)
本店	〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR 新宿ミライナタワー TEL: 03-5368-0700 (代表)
資本金	532億4千万円
従業員数	連結: 81,393 人 単体: 12,825 人



グループ会社 85社 (当社含む国内17社、海外68社)

国内関係会社

エプソン販売株式会社
エプソンダイレクト株式会社
東北エプソン株式会社
秋田エプソン株式会社
宮崎エプソン株式会社
エプソンアトミックス株式会社
他 10社



海外関係会社

Epson America, Inc.
Epson Europe B.V.
Epson (China) Co., Ltd.
Epson Singapore Pte. Ltd.
Epson Engineering (Shenzhen) Ltd.
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd.
P.T. Epson Batam
P.T. Indonesia Epson Industry
Epson Precision (Philippines), Inc.
他 59社

役員 (2018年10月1日現在)

役名	氏名	役名	氏名
代表取締役社長	碓井 稔	常務執行役員	奥村 資紀 渡辺 潤一 島田 英輝
代表取締役 専務執行役員	久保田 孝一		北松 康和 深石 明宏 村田 すなお 森山 佳行 高畑 俊哉 北原 強 佐伯 直幸
取締役 執行役員	川名 政幸 瀬木 達明 小川 恭範		下斗米 信行 山本 和由 安藤 宗徳 五十嵐 人志 Keith Kratzberg 大塚 勇 阿部 栄一 市川 和弘 内藤 恵二郎 熊倉 一徳 吉田 佳史
社外取締役	大宮 英明 松永 真理	執行役員	
取締役 常勤監査等委員	重本 太郎		
社外取締役 監査等委員	奈良 道博 椿 慎美 白井 芳夫		
		監査等特命役員	戸枝 晶彦

株式の状況

発行可能株式総数	1,214,916,736 株
発行済株式総数	399,634,778 株
株主の総数	47,619 人

大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	所有株式比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	52,219	14.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,607	6.98
三光起業株式会社	20,000	5.67
セイコーホールディングス株式会社	12,000	3.40
服部 靖夫	11,932	3.38

(注) 1. 当社は自己株式 47,232 千株を所有していますが、上記の大株主の状況から除外しています。
2. 所有株式数は、千株未満を切り捨てています。
3. 所有株式比率は、自己株式を控除して計算し、小数点以下第 3 位を切り捨てています。